

8月	モニターレポート	担当出張所	木津川出張所
担当区間	泉大橋～笠置大橋 (25.0～37.2km)		
モニター実施日時	令和2年8月10日(日) 11時15分頃 ～ 12時30分頃		
天候	晴れ		

(見出し)

2回目のモニターは、笠置大橋近辺と、ここから下流の恭仁大橋までの右岸側のモニターとなります。  
笠置大橋近辺は、担当区間の中で唯一の河川公園となっているため、たくさんの人が集っています。  
今回は、この区間を見回って気付いた点を報告いたします。

(内容)

笠置大橋下流側にある笠置のキャンプ場です。



ここは、車両が直接乗り入れられるため、日陰近くに駐車してテントを張ったり、水辺に近い場所でテントを張ったり、多くの人で賑わっています。



飲み終えたペットボトルが入ったゴミ袋が無造作に転がっていました。利用者が持ち帰っていただけることを願っています。



キャンプ場入口に掲示されている看板です。利用料を徴収される分、施設関係者の方々のご努力もあり、場内はほぼ清掃が行き届いているように感じました。

### ○白砂川河口



木津川本流に流れ込む「白砂川」です。遠目に見えるのが笠置大橋です。

ここは比較的浅瀬になっているので、この場所で涼を求める家族連れも見られました。



笠置大橋上流側にあるカヌー場入口に設置されていた石材でできたモニュメントです。

「戦後まもなく、この場所で日本におけるカヌー遊びと普及活動が始まったことから、ここが発祥の地である」旨の説明書きがありました。



水際にカヌーがたくさん置かれてあります。

ちょうど昼時であったため、多くの方は休憩しておられました。カヌーに興じている方も数名みられました。



笠置大橋の橋梁にも水位柱が設置されていました。

水位を示す数字が大きいので、遠目からも見やすくなっています。



カヌー場から笠置大橋を越えてキャンプ場方向を見たアングルです。たくさんの車両とキャンプに興じる方が見られます。



笠置大橋から恭仁大橋までは木津川右岸側には国道163号線が並行していますが、モニターできる地点は限られています。

ここは、35km地点から左岸を撮影したのですが、左岸側はほとんどが山であり、山裾をJR関西本線（加茂～亀山）が通っています。



銭司聖天近くにあるキャンプ場です。ここは砂地になっているようです。  
笠置のキャンプ場に比べるとかなり空いているので、穴場ではないでしょうか…。

（意見・感想・処置等）

前回に続き、今回も暑い中でのモニター活動をありがとうございます。  
確かに泉大橋から笠置大橋は他の区間よりも狭容で、山が木津川に迫ってきているので移動もしにくく、モニターさんにはご苦労をお掛けしていると思います…。が、その分 自然が豊かで  
下流では見られないような植物や鳥、虫等に会えるかもしれません。そして、キャンプ場になっているところは車が入り入れできるようになっていますが、他の川砂が堆積して固まっているように見える所に

車を乗り入れされますと、大変危険ですので気を付けてくださいね。

今年度になってから、泉大橋付近の川の中に乗り入れた車が水中に落ちる・・・という事故が数件発生しています。車中の人も危険にさらされますし、油が漏れると水質事故になり、車を引き上げるのも大変ですので、皆さま車で川の中にはむやみに入らないでくださいね。

それでは次回も楽しみにしています。来月は朝晩の気温は少し下がってきても まだまだ昼間は暑いと思われますので、くれぐれもご無理の無い範囲でのモニター活動をお願いいたします。